

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年5月18日（月）

2 確認箇所

- ・放射性物質分析・研究施設第2棟の建設地（図1）
- ・モニタリングポスト（No. 1～2）（図1）

3 確認項目

- （1）放射性物質分析・研究施設第2棟の建設工事の状況
- （2）敷地境界モニタリングポストの状況

4 確認結果の概要

（1）放射性物質分析・研究施設第2棟の建設工事の状況

日本原子力研究開発機構（以下「JAEA」という。）では、福島第一原子力発電所の廃止措置に向けた、燃料デブリ等の性状把握に資する分析を行う施設として、令和7年3月31日から発電所構内に放射性物質分析・研究施設第2棟（以下「JAEA第2棟」という。）の建設工事に着手している。

今回、当該工事の進捗や安全対策の状況について現地確認した。（前回確認：令和8年4月21日）

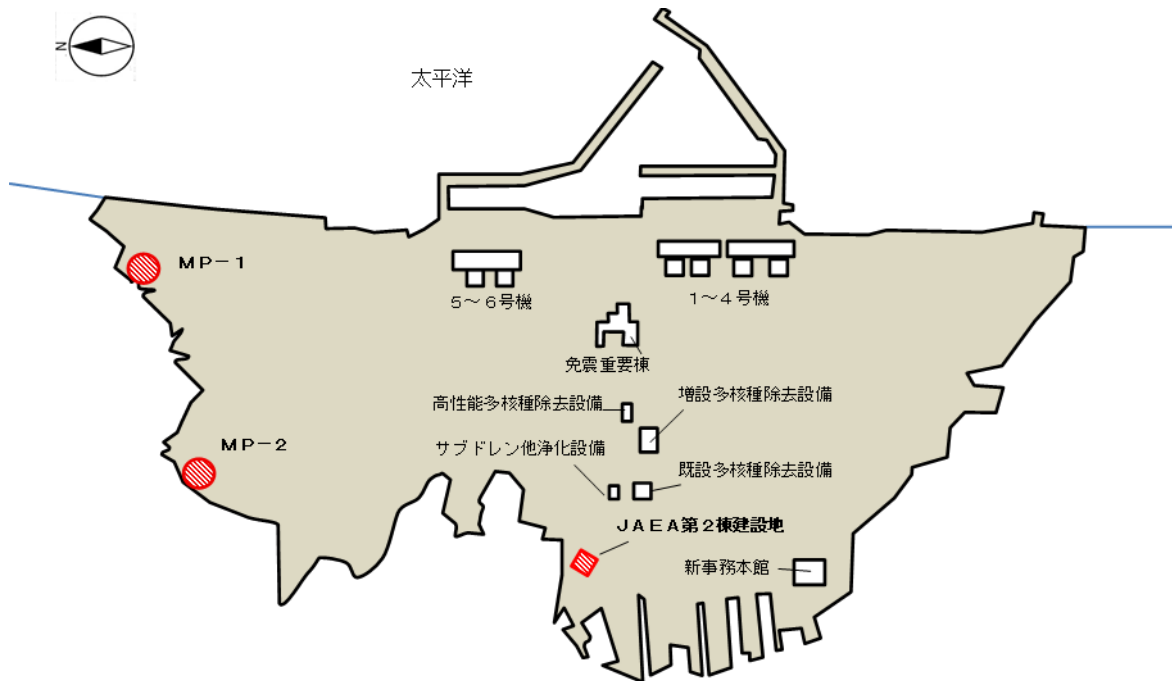
- ・2階床面のコンクリート打設を始め、建屋の躯体工事が進められていたほか、地下階ではコンクリートセル関連工事や電気設備工事、建屋内の内装工事等が進められていた。（写真1）
- ・現場では各所に足場が組み立てられ、クレーン車等の重機が設置されており、侵入防止や段差注意等の安全対策に関する掲示のほか、熱中症対策に関する掲示がなされていた。（写真2）

（2）敷地境界モニタリングポストの状況

東京電力では、福島第一原子力発電所の敷地境界における空間線量率等を測定するため、敷地境界付近の8か所にモニタリングポストを設置している。

今回は、これらのうち北側に設置されているモニタリングポストNo. 1及びNo. 2の状況等を確認した。（前回確認：令和7年8月5日）

- ・現場確認時には、モニタリングポストに設置している連続ダストモニタの巡視点検が行われていた。
- ・モニタリングポストの外観及び周囲のフェンス等に異常は認められなかった。また、フェンス内は整地されており、その周辺では廃炉に係る作業等は行われておらず、測定の支障となるような構造物等も確認されなかった。（写真3）
- ・モニタリングポスト内に設置されている可搬型モニタリングポストの指示値はNo. 1が0.4 μ Sv/h、No. 2が0.6 μ Sv/hであり、東京電力がホームページで公表している値と概ね一致していた。（写真4）



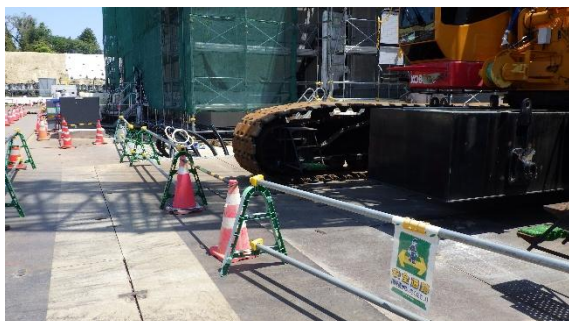
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) 第2棟建設工事現場の外観



(写真1-2) 第2棟(地下階)の工事状況



(写真2-1) 重機周辺の安全対策の状況



(写真2-2) 安全対策に関する掲示の状況



(写真2-3) 熱中症対策に関する掲示の状況



(写真3-1) モニタリングポスト (No. 1) の状況 (全景)



(写真3-2) モニタリングポスト (No. 2) の状況 (全景)



(写真3-3) モニタリングポスト (No. 1) の状況 (検出器)



(写真3-4) モニタリングポスト (No. 2) の状況 (検出器)



(写真3-5) モニタリングポスト (No. 1) の状況 (ダスト採取口)



(写真3-6) モニタリングポスト (No. 2) の状況 (ダスト採取口)



(写真4-1) 可搬型モニタリングポスト (No. 1)



(写真4-2) 可搬型モニタリングポスト (No. 2)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常値は確認されなかった。